

霧出地区 住民アンケート 分析レポート

～結果から何が見えてくるか？～

平成29年11月

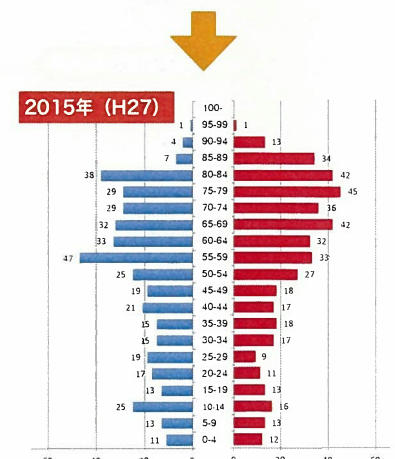
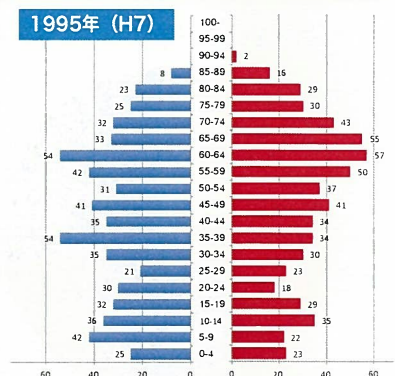
NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター

霧出

国勢調査データから見る過去20年間の人口推移

霧出地区の人口ピラミッドの推移

	← 国勢調査データ →				独自推計値	
	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年※
総人口 (人)	1,207	1,113	1,021	950	862	763
	20年間で28.6%減少				▲ 99	
0～14歳 (人)	183	151	126	102	90	66
	20年間で50.8%減少				▲ 24	
15～64歳 (人)	728	626	556	501	419	374
	20年間で43.4%減少				▲ 45	
65歳～ (人)	296	336	339	347	353	323
	20年間で19.3%増加				▲ 30	
高齢化率	24.52%	30.19%	33.20%	36.53%	40.95%	42.30%
(再掲) 75歳～ (人)	133	145	155	200	214	192
(再掲) 85歳～ (人)	26	34	39	47	60	75



※国勢調査データを基に都岐沙羅パートナーズセンターが独自に推計した数値

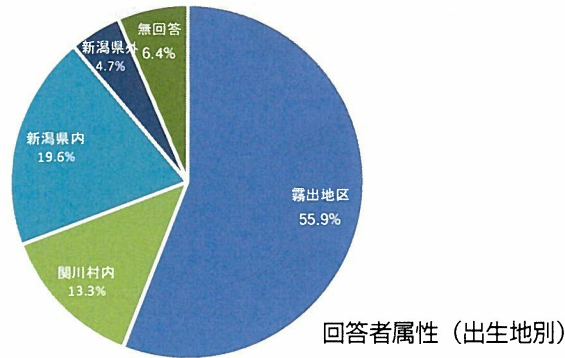
(参考) 2015年の高齢者率 新潟県平均：29.85%/全国平均：26.63%

霧出地区も急激に少子高齢化が進展している！

中学生以上の全住民アンケートの実施

回収数：637通

回収率：約75%



かなりの高回収率！

↓
地域住民の意向がしっかりと反映されているデータである

霧出地区 住民アンケート

●本アンケートは、住民一人一人の考えを把握し、世代別・男女別に日頃思っている考え・意見を整理するため、中学生以上の方に対して行っています。
●回答は無記名でお願いいたします。
●回答の結果は、個人を特定しない形で集計・分析し、今後の地域づくりに役立てていきます。
●アンケート用紙は、一人ひとり提出していただきますので、家族で意見が違っても構いません。思ったことをそのまま回答してください。

問1 あなたの年齢と性別について、あてはまるものに○をつけてください。

(年齢) 1. 10～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上

(性別) 男性 女性

問2 あなたの生まれたところはどこですか。あてはまるものに○をつけてください

1. 霧出地区 2. 関川村内(霧出地区外) 3. 新潟県内 4. 新潟県外

問3 あなたの仕事にあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 農業	2. 林業	3. 漁業
4. 自営業	5. 会社員	6. 公務員・団体職員
7. パート・アルバイト	8. 専業主婦(夫)	9. 中学生
10. 高校生・高専生	11. 大学生・短大生・専門学校生	
12. その他()	13. 無職	

#学生及び仕事されている方は、以下もお答えください。

問3-2 休日はいつですか？(振日を除く)

1. 土曜(毎週)と日曜 2. 土曜(隔週)と日曜 3. 日曜のみ
4. 平日 4. 不定期

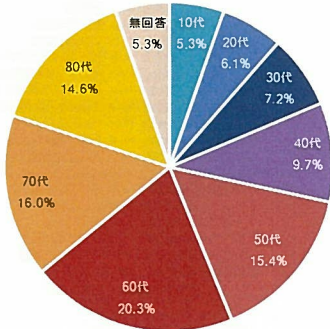
問4 農林業の作業(手回しも含む)をしていますか。あてはまるものに○をつけてください

1. 作業をしている 2. 作業をしていない

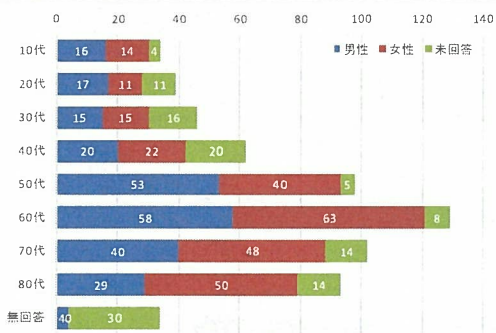
1

回答者属性

回答者属性（年代別）



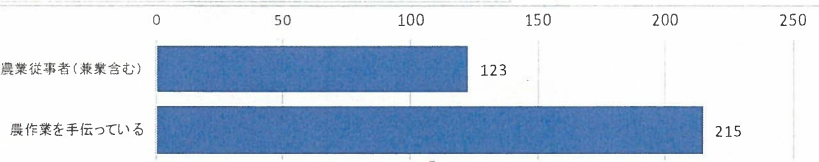
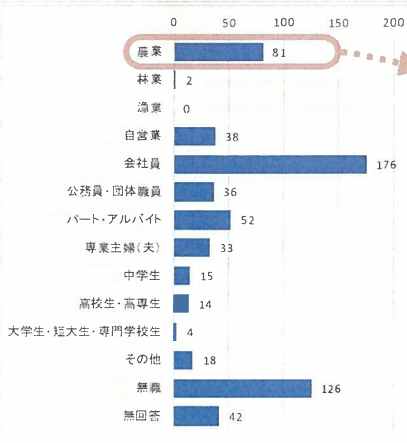
回答者属性（年代別×男女別）



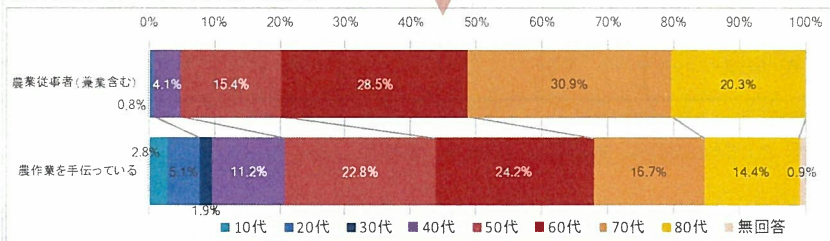
若者・中堅世代は少数派。多数決では年配層には叶わない。



世代別に意見をまとめないと埋没してしまう！

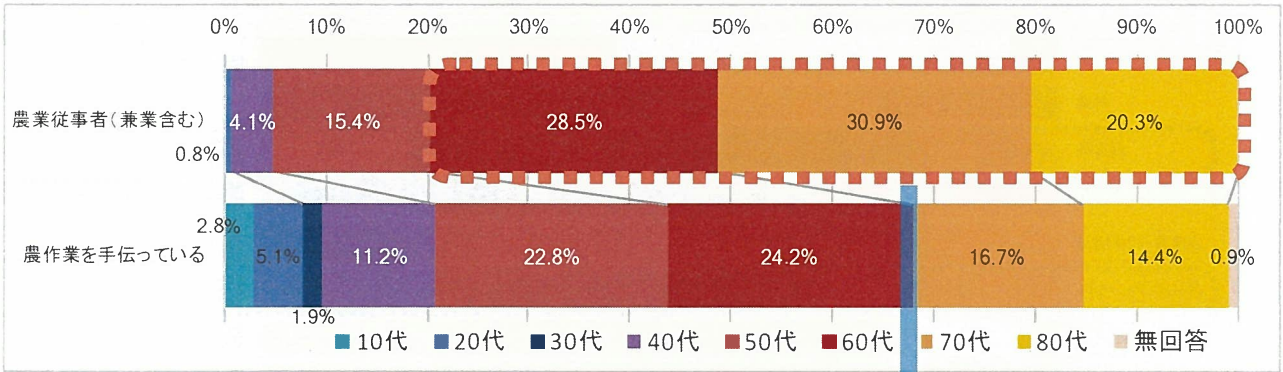


農業従事者の年代構成（割合）



回答者属性（職業）

農業従事者の年代構成



農業従事者の年代構成 (人数)

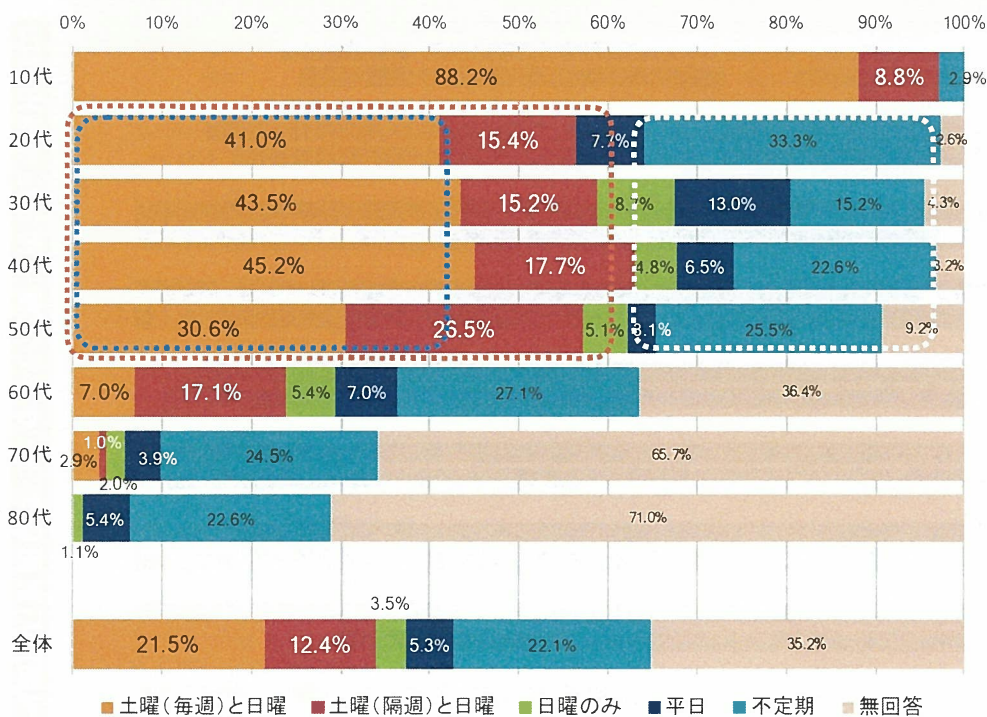
年代	人数
10代	0
20代	1
30代	0
40代	5
50代	19
60代	35
70代	38
80代	25
計	123

農業従事者の79.7%が60代以上

農地の維持管理はどうなりますか？

20年後は50人程度!?

休日はいつか？ (年代別)



20~50代

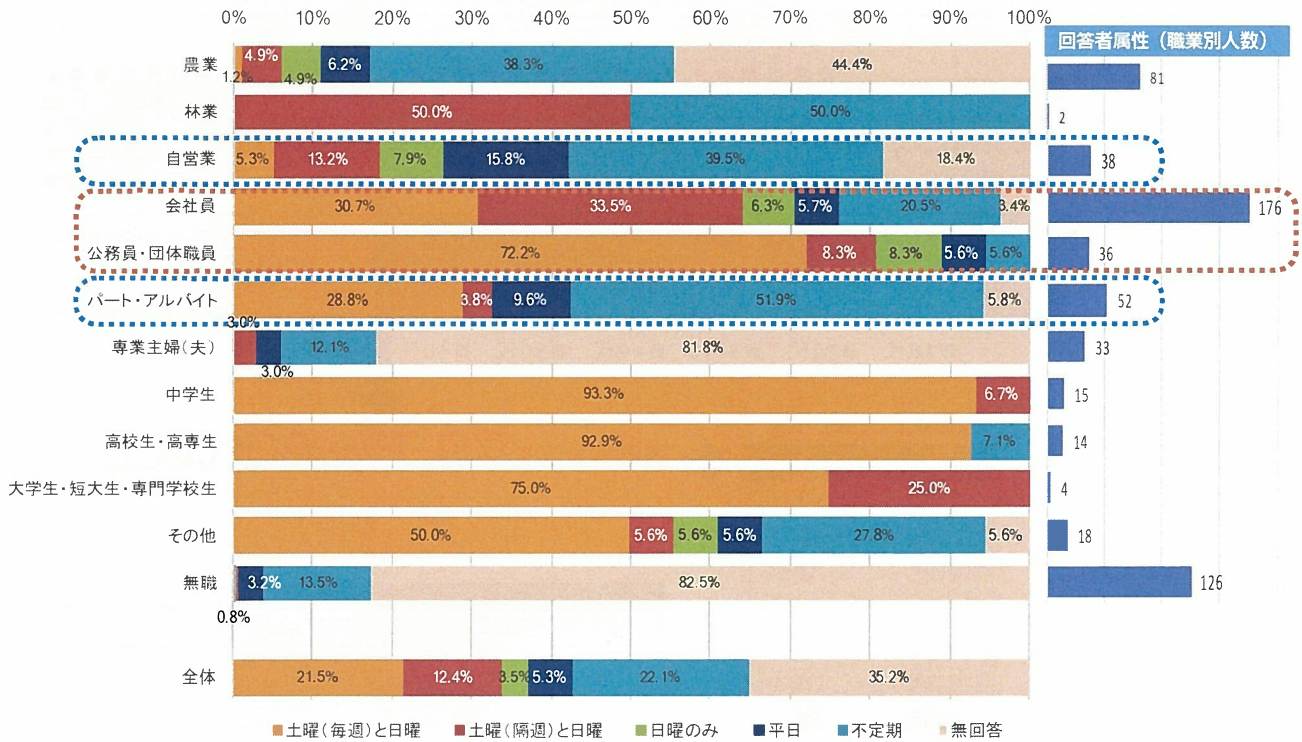
土曜日が毎週休み
約3~4割

日曜日が毎週休み
約6割

休みが平日・不定期
約3割

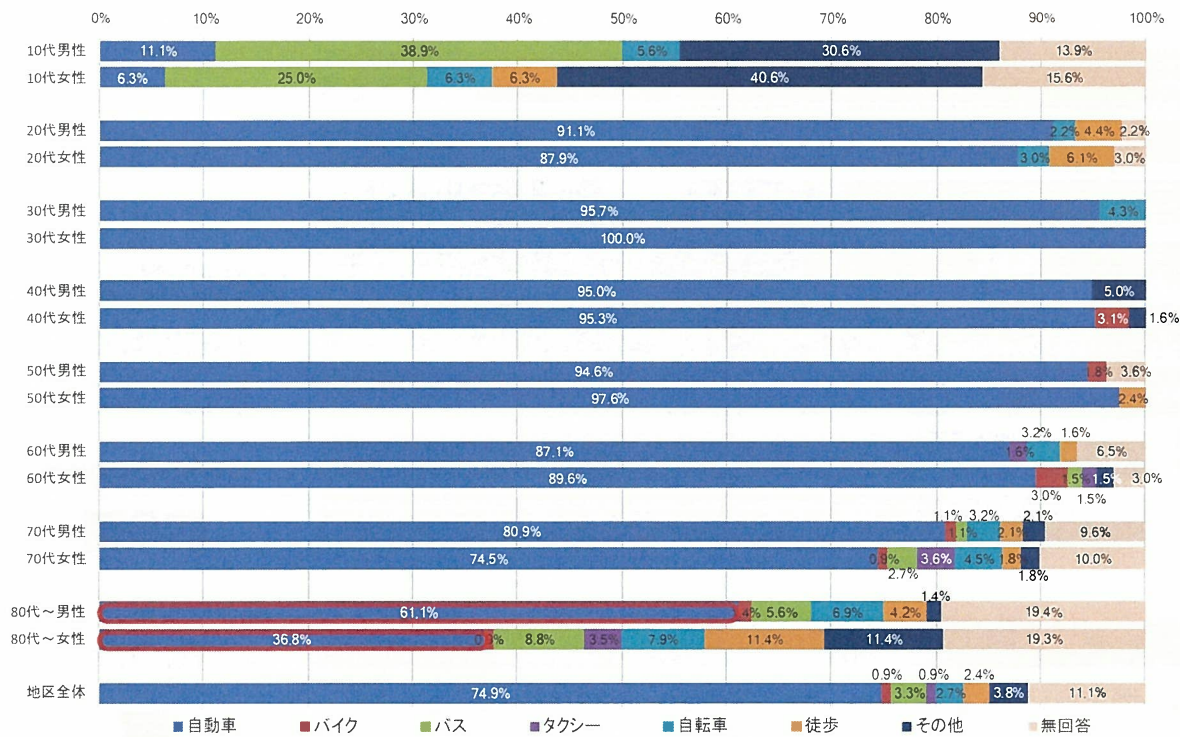
この世代の参加を求めるのであれば、配慮が必要!

休日はいつか？（職業別）



当たり前ではあるが職業によって休日は異なる → 行事・共同作業の曜日設定に配慮が必要

年代別・男女別の日常的な交通手段

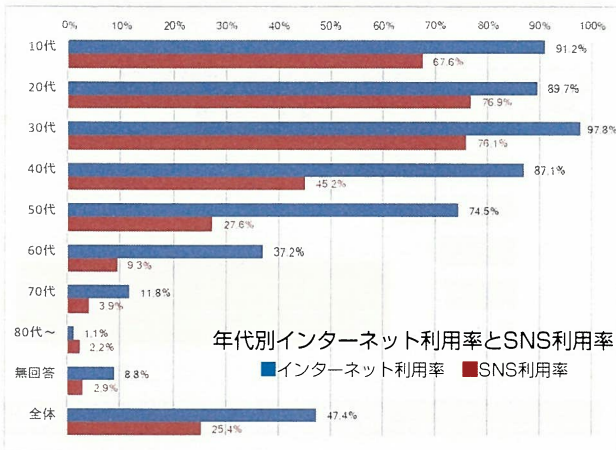


日常生活での移動が困難になる人の数は確実に増加する

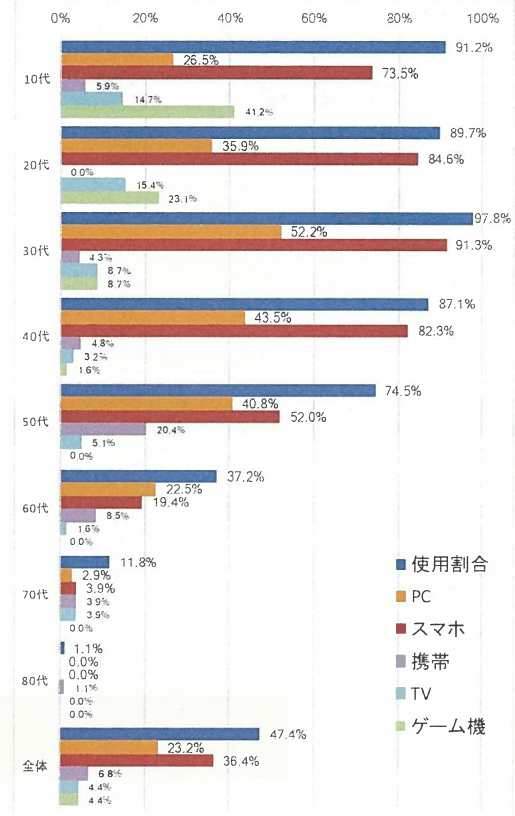
80代になると自分で車の運転をする人の割合が減少 → **要確認** この方々の運転免許保有率は？ → 低い：交通弱者急増…15～20年後？ 高い： // 急増…10年以内？

インターネットの利用割合

年代別インターネットの利用率



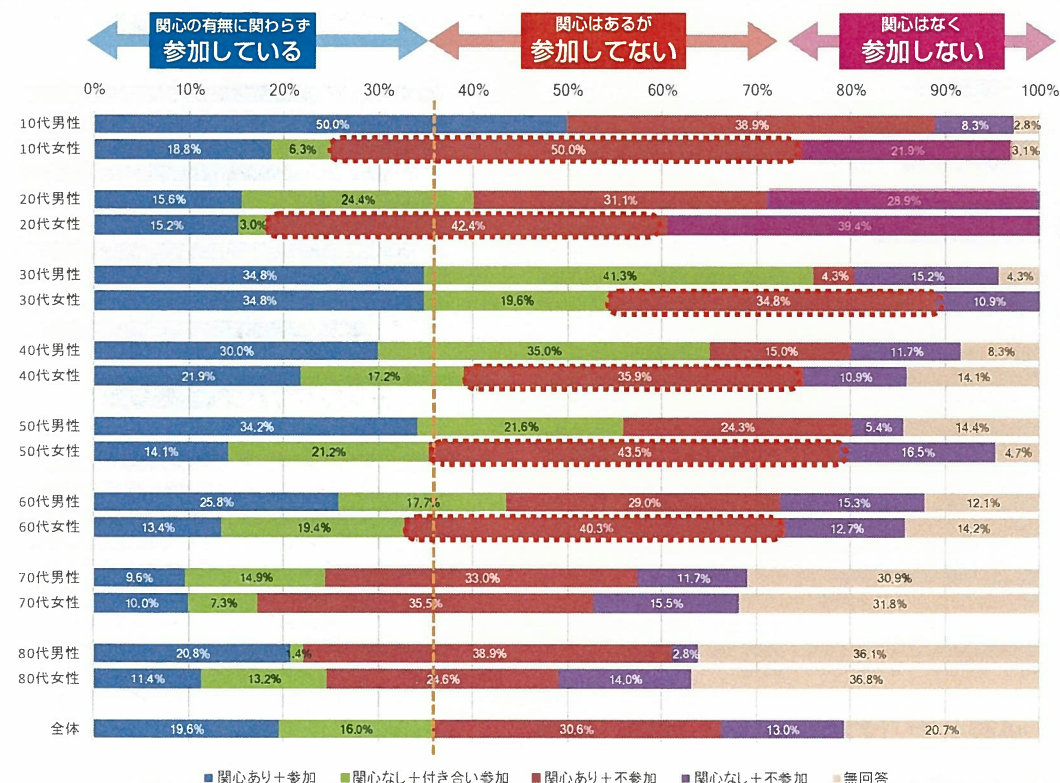
年代別インターネット利用における使用機器



- 全体の半数以上がインターネットを利用。
- **40代以下は約9割**がインターネットを利用。（50代でも7割以上）
- **大半がスマホ・携帯で利用**しており、若い世代ほどその割合は高い。
- 30代以下は**3人に2人以上がSNS**を利用。

50代以下はインターネット経由での情報伝達の方が効果的?!

地域活動への関心



【注意！】

10・20代は「関心は無く、参加したいと思わない」の割合が他の世代に比べて高い！

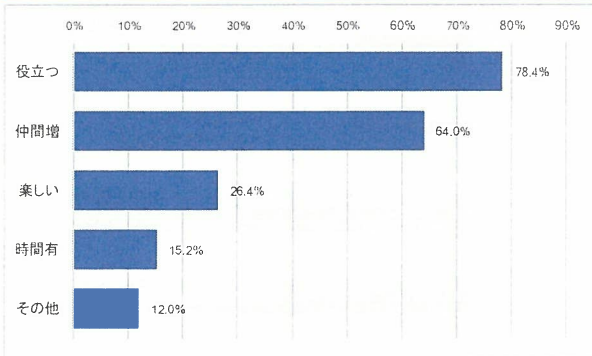
20代女性：39.4%
(全世代で1位)
20代男性：28.9%
(同2位)
10代女性：21.9%
(同3位)

必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではない

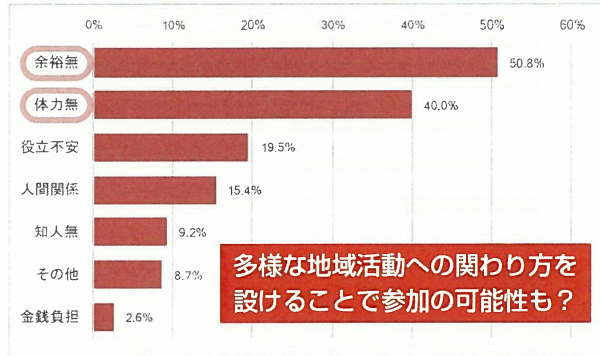
特に女性は「関心があっても参加していない」割合が高い。→その理由を探ることが大切！

地域活動への関心 (それぞれの理由) ※複数回答

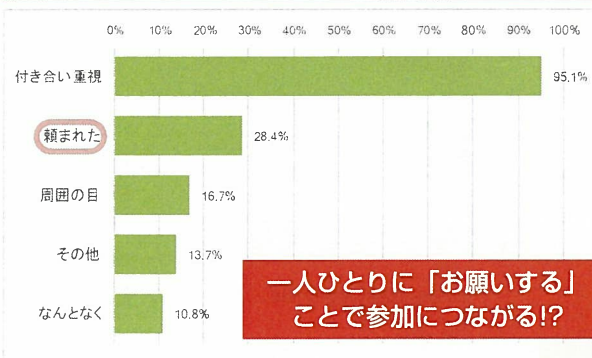
関心あり+参加の理由 (回答数125)



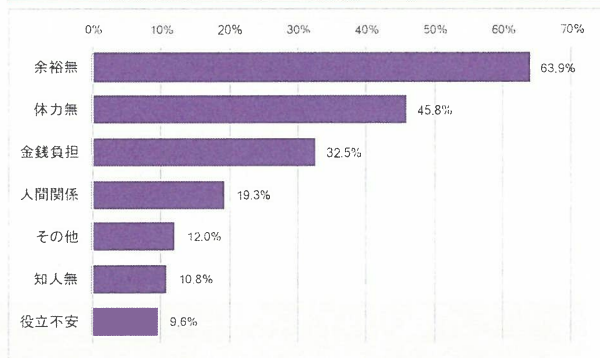
関心あり+不参加の理由 (回答数195)



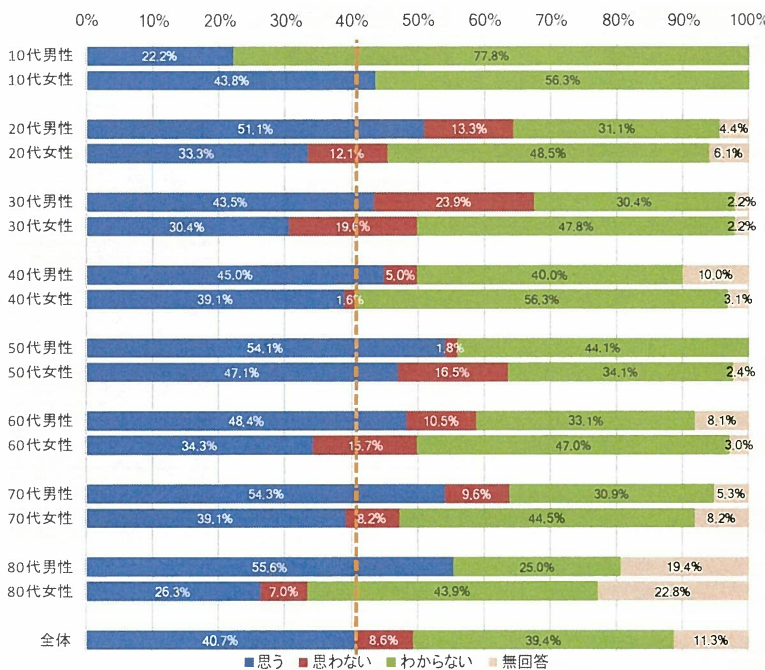
関心なし+付き合い参加の理由 (回答数102)



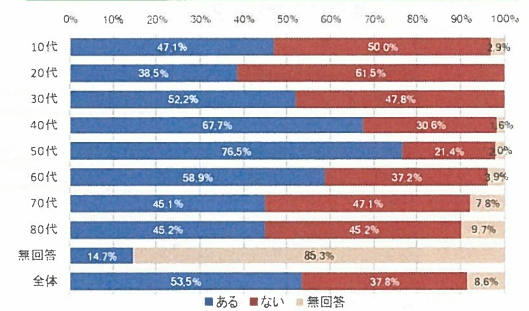
関心なし+不参加の理由 (回答数83)



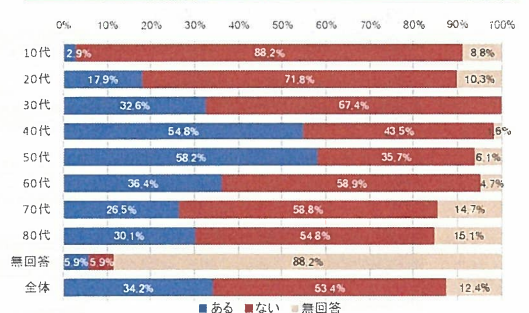
女性・若者の声を反映する必要性 (年代別×男女別)



会議等に出席したことがあるか？



役員経験の有無

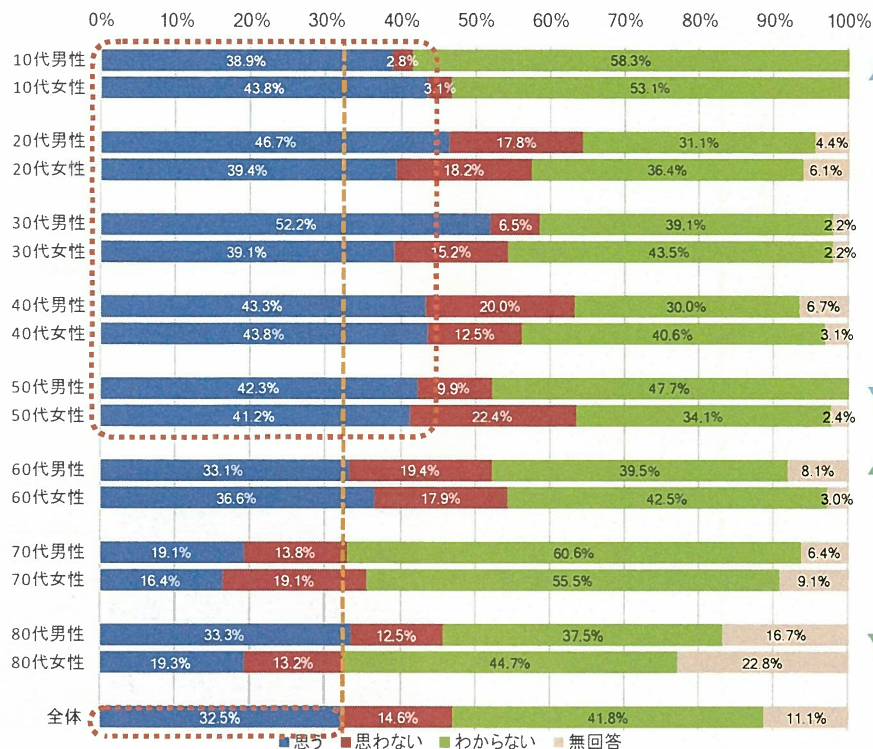


地域全体では、「必要」と「わからない」が同じ割合

男性は必要性を感じているが、女性は「わからない」が多い

→役割の有無、会議等のあり方・持ち方などが影響しているのではないか？

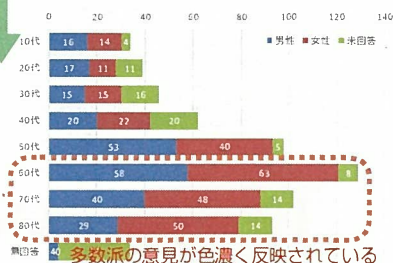
定住受入の必要性 (年代別×男女別)



必要性を感じている世代

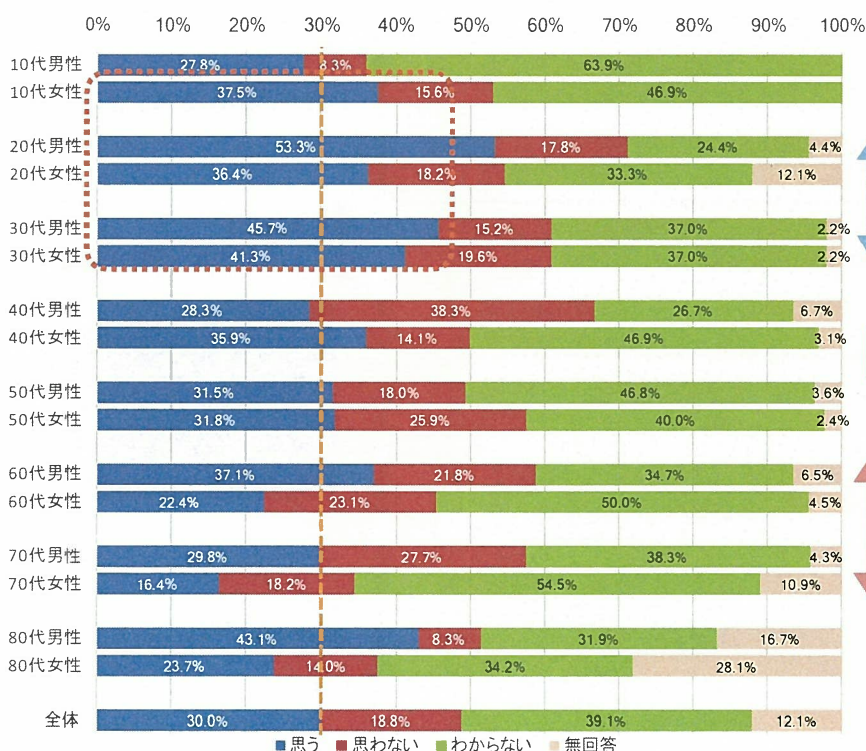
50代以下は移住・定住の受け入れを求めている!?

『わからない』が多い世代



地域全体では約1/3が「必要」だと思っている。
50代以下は「必要」という割合が高い。

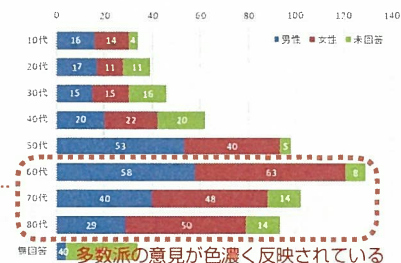
他地域との交流の必要性 (年代別×男女別)



20~30代は「必要」という割合が高い (特に20代男性)

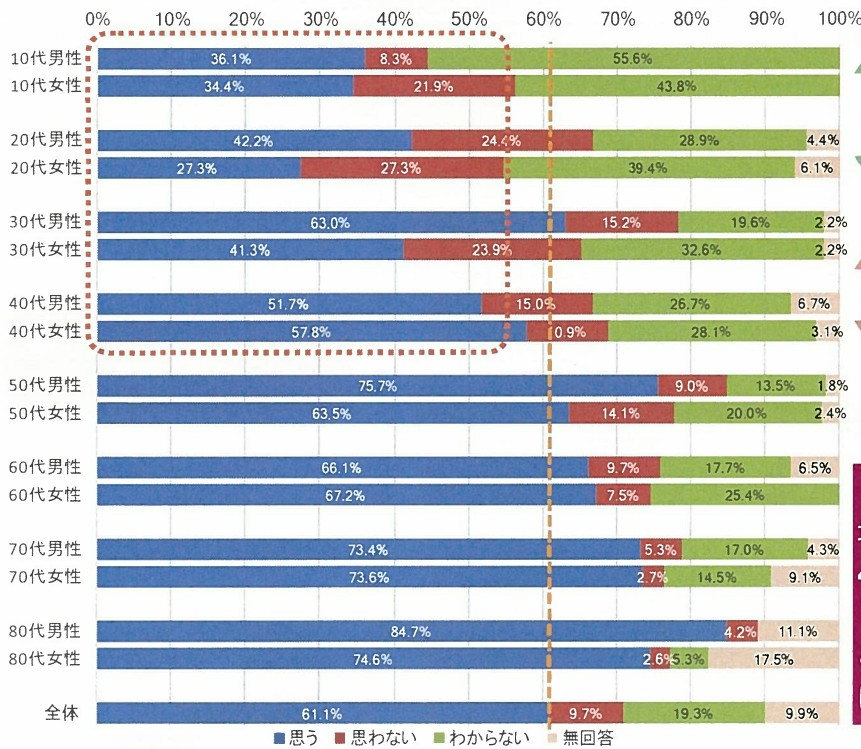
若者は他地域交流を求めている!?

60~70代女性は、「必要性を感じていない」「わからない」の割合が高い。



地域全体では「必要」だと思っている割合が3割。
20~30代は「必要」という割合が高い。

この地域に住み続けたいと思うか？（年代別×男女別）



↑ 「わからない」が最も多い
10代男性・女性
20代女性

↑ ↓ 「住み続けたい」が地区平均以下
30代女性
40代男性・女性

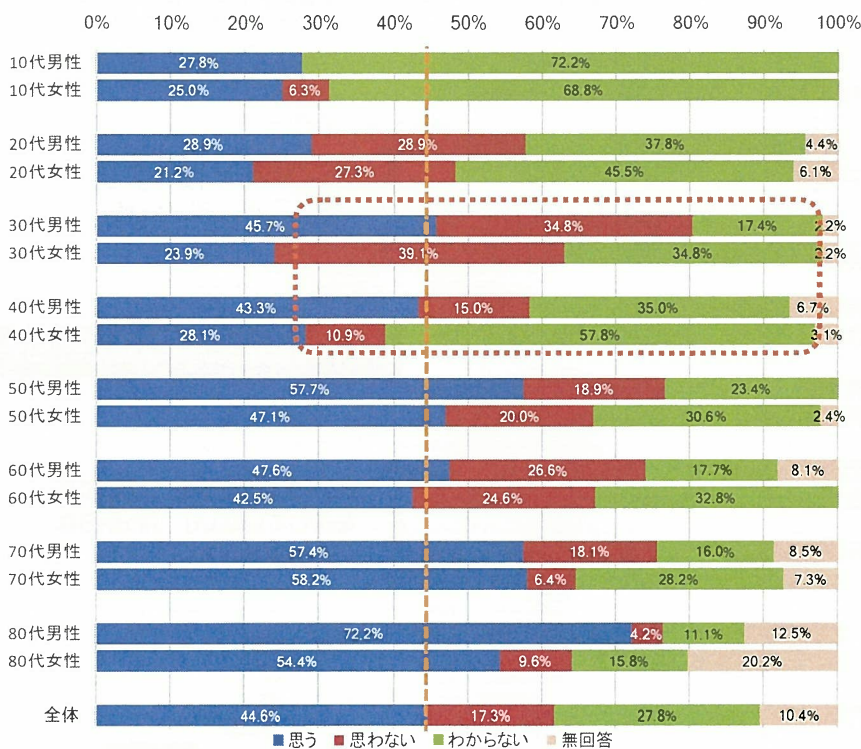
【注意！】

地区全体では比較的高水準であるが、**40代以下は地区平均よりも低い。**

このままの状況が続くと、人口減少はさらに進行する可能性が高い。

「住み続けたいと思う」は61.1%

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？（年代別×男女別）



↑ 「わからない」が多い世代

↑ ↓ 30代は
1/3以上が「思わない」

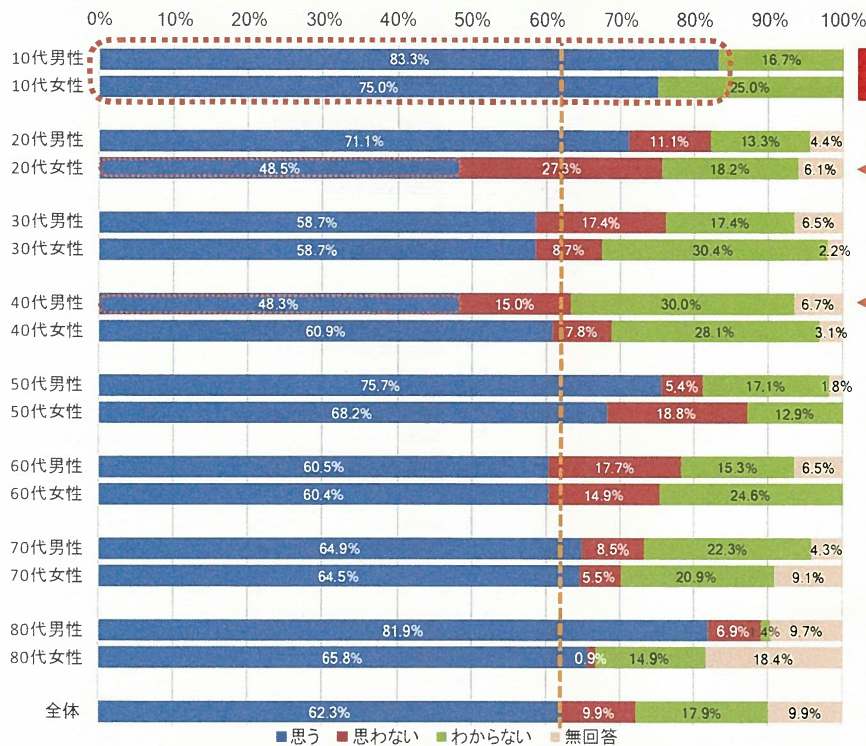
【注意！】

30・40代の子育て世代では「思わない」「わからない」の割合が比較的高い。

↓ 「住み続けてほしい」が多い世代

「住み続けてほしいと思う」は44.6%

地域への愛着の有無 (年代別×男女別)



10代はかなり愛着を持っている！

地区平均よりも愛着が低い世代

地区平均よりも愛着が低い世代

地域への愛着はある。

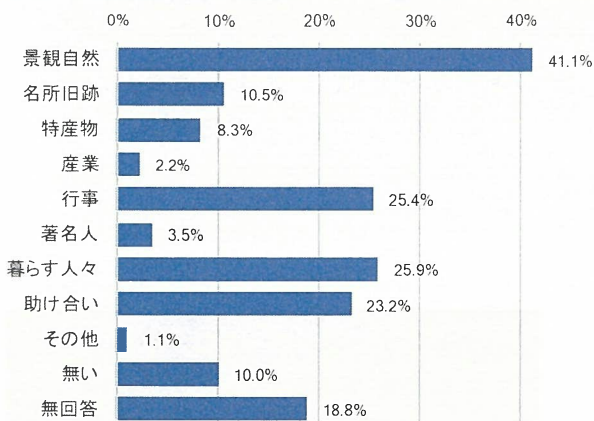
しかし、住み続けるかどうかについては・・・(_ _)

「住み続けたい」と思うような環境を整えることで、将来への可能性を見いだすことができるのでは？

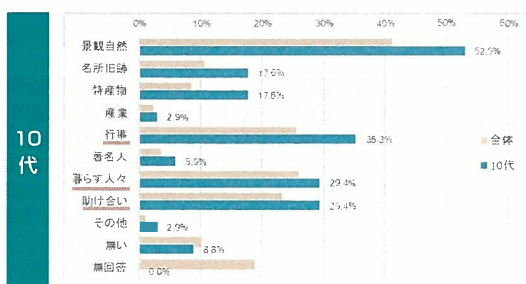
「愛着がある」は62.3%

誇りに思う地域資源は何か (10~40代)

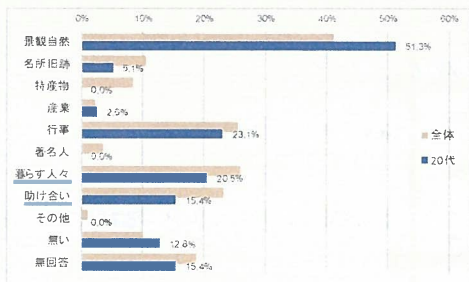
地区全体 (複数回答)



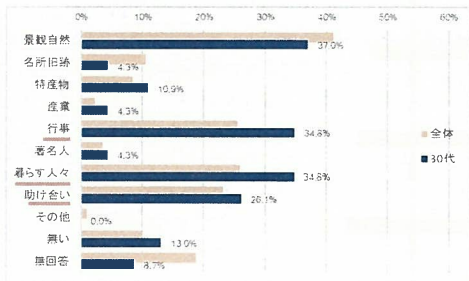
地区平均よりも高い (オレンジ)
地区平均よりも低い (ブルー)



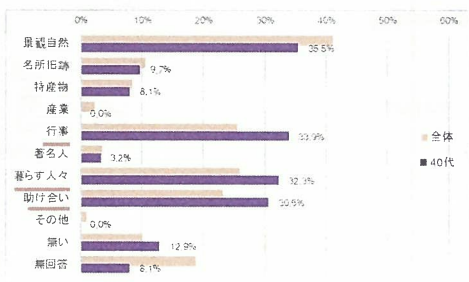
20代



30代

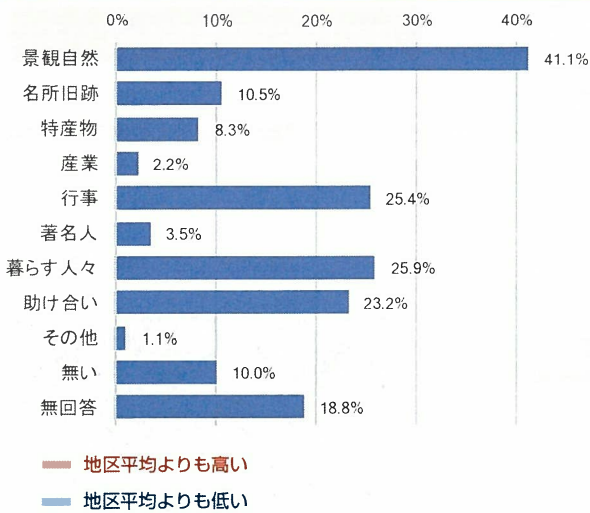


40代

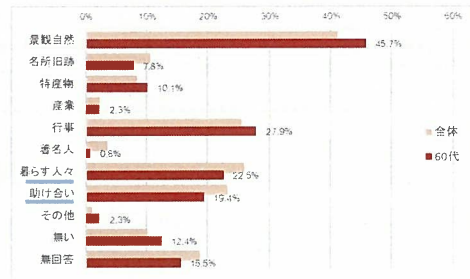


誇りに思う地域資源は何か (50代～)

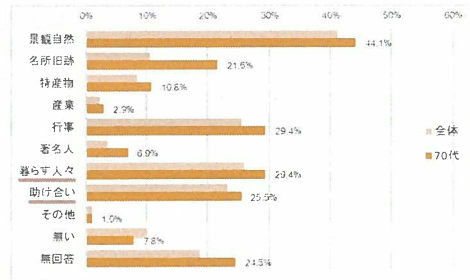
地区全体 (複数回答)



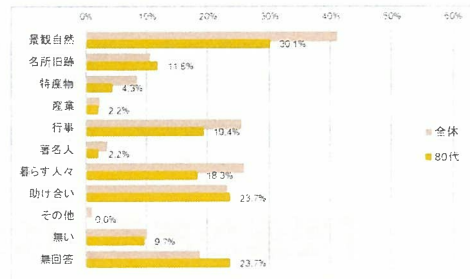
60代



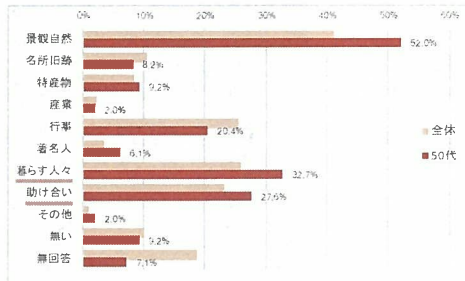
70代



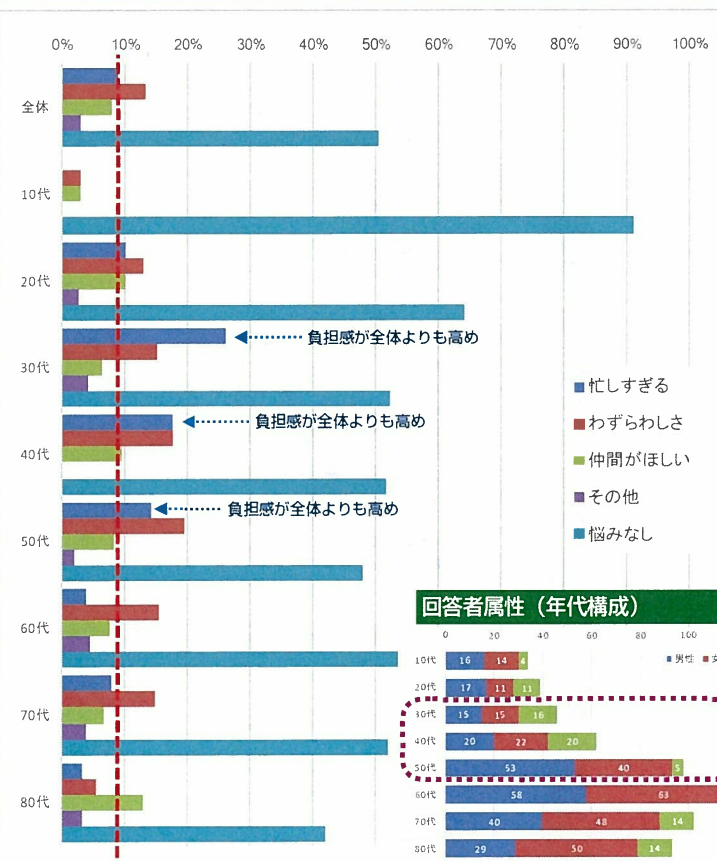
80代



50代



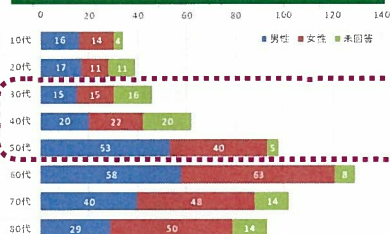
近所づきあいでの悩み



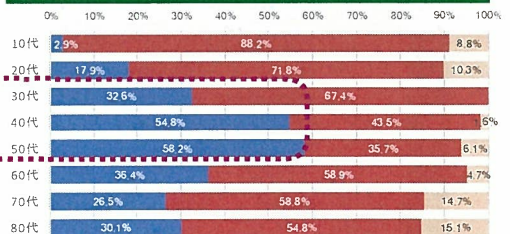
- 地区全体では半数が「悩みなし」
- 30～50代は「忙しすぎる」という悩みが全体平均よりも高い。

※人は減っているのに、役割・仕事は変わっていないければ、負担感が増すのは当然のこと。今後、さらに人の数は減っていくのに、このままの状況で大丈夫か？

回答者属性 (年代構成)



役員経験の有無

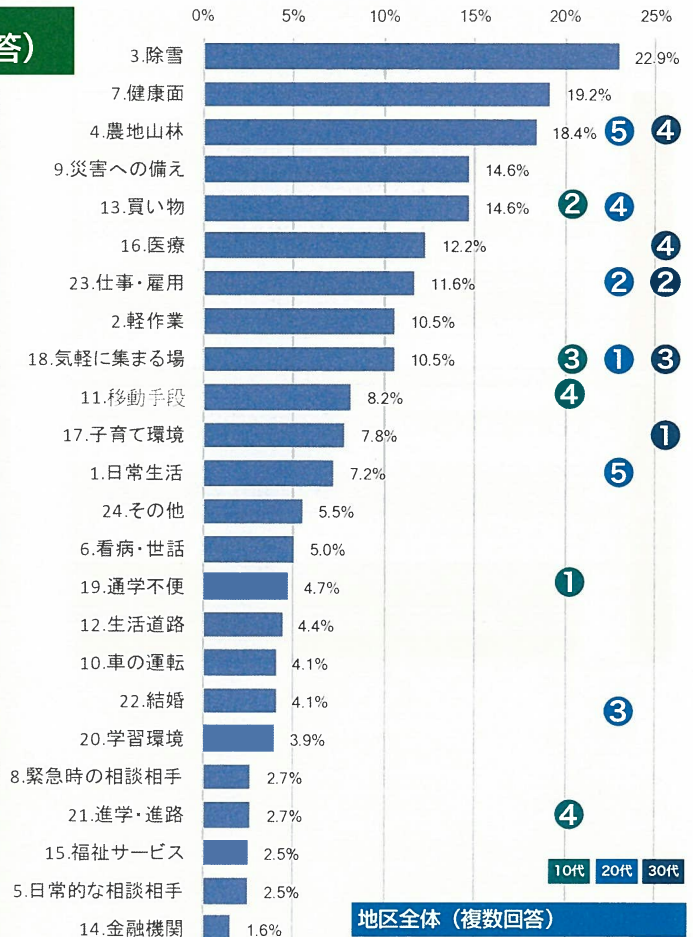


暮らしの中の困りごと（複数回答）

10代	
1 学校が遠く、通学が不便である	35.3%
2 コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便	20.6%
3 仲間と気軽に集まる場所がない	17.6%
4 買い物・通院などの移動手段（交通手段）	14.7%
進学・進路	14.7%

20代	
1 仲間と気軽に集まる場所がない	30.8%
2 仕事・雇用	20.5%
3 結婚	17.9%
4 コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便	15.4%
5 食事づくり、洗濯、ゴミ出しなどの日常生活	10.3%
農地、山林の維持管理	10.3%

30代	
1 少子化による遊び相手の確保など子育て環境	28.3%
2 仕事・雇用	19.6%
3 仲間と気軽に集まる場所がない	17.4%
4 災害への備えや避難	13.0%
病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	13.0%

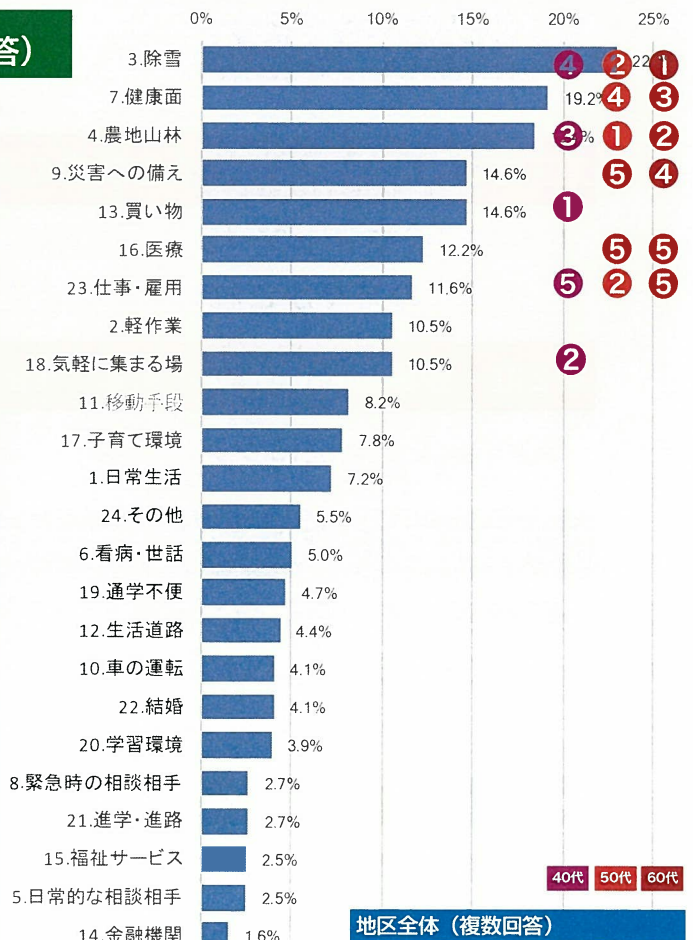


暮らしの中の困りごと（複数回答）

40代	
1 コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便	30.6%
2 仲間と気軽に集まる場所がない	25.8%
3 農地、山林の維持管理	22.6%
4 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	21.0%
仕事・雇用	21.0%

50代	
1 農地、山林の維持管理	26.5%
2 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	22.4%
仕事・雇用	22.4%
4 健康面への不安がある	16.3%
5 災害への備えや避難	15.3%
病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	15.3%

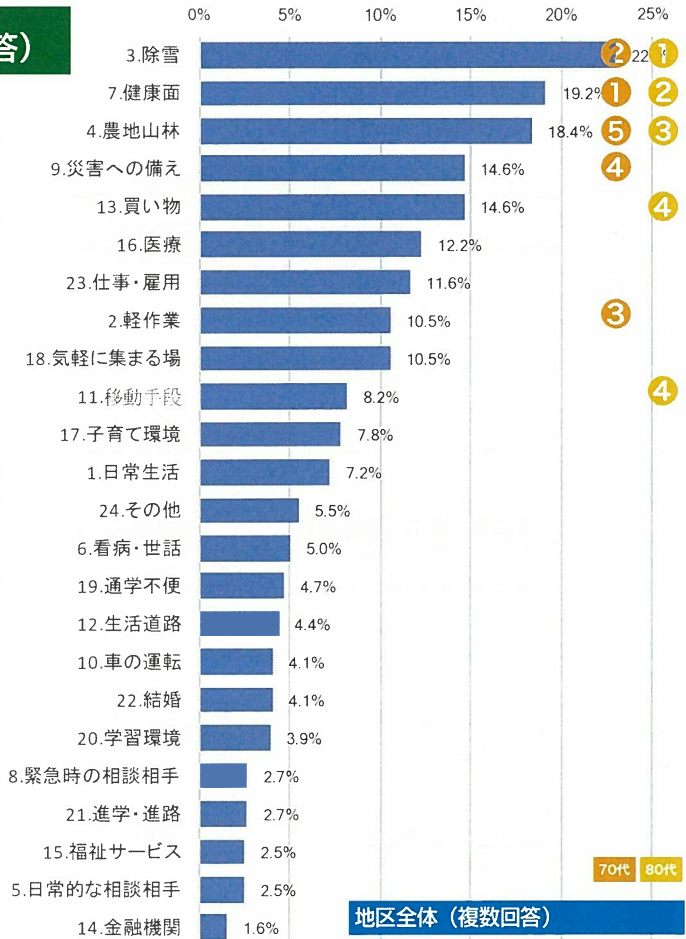
60代	
1 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	27.9%
2 農地、山林の維持管理	27.1%
3 健康面への不安がある	20.2%
4 災害への備えや避難	14.7%
5 病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	10.9%
仕事・雇用	10.9%



暮らしの中の困りごと（複数回答）

70代	
1 健康面への不安がある	40.2%
2 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	34.3%
3 庭作業（草取り）、電気器具修理など軽作業	24.5%
4 災害への備えや避難	23.5%
5 農地、山林の維持管理	17.6%

80代	
1 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	35.5%
2 健康面への不安がある	31.2%
3 農地、山林の維持管理	19.4%
4 買い物・通院などの移動手段（交通手段）	15.1%
コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便	15.1%



暮らしの中の困りごと（まとめ）

第1位 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪 22.9%

60・80代でトップ（50・70代は第2位）

→多くの方々がこれを困りごととしてあげている。

第2位 健康面への不安がある 19.2%

50代以上で上位にランクイン

第3位 農地、山林の維持管理 18.4%

40代以上で上位にランクイン（50代は第1位）

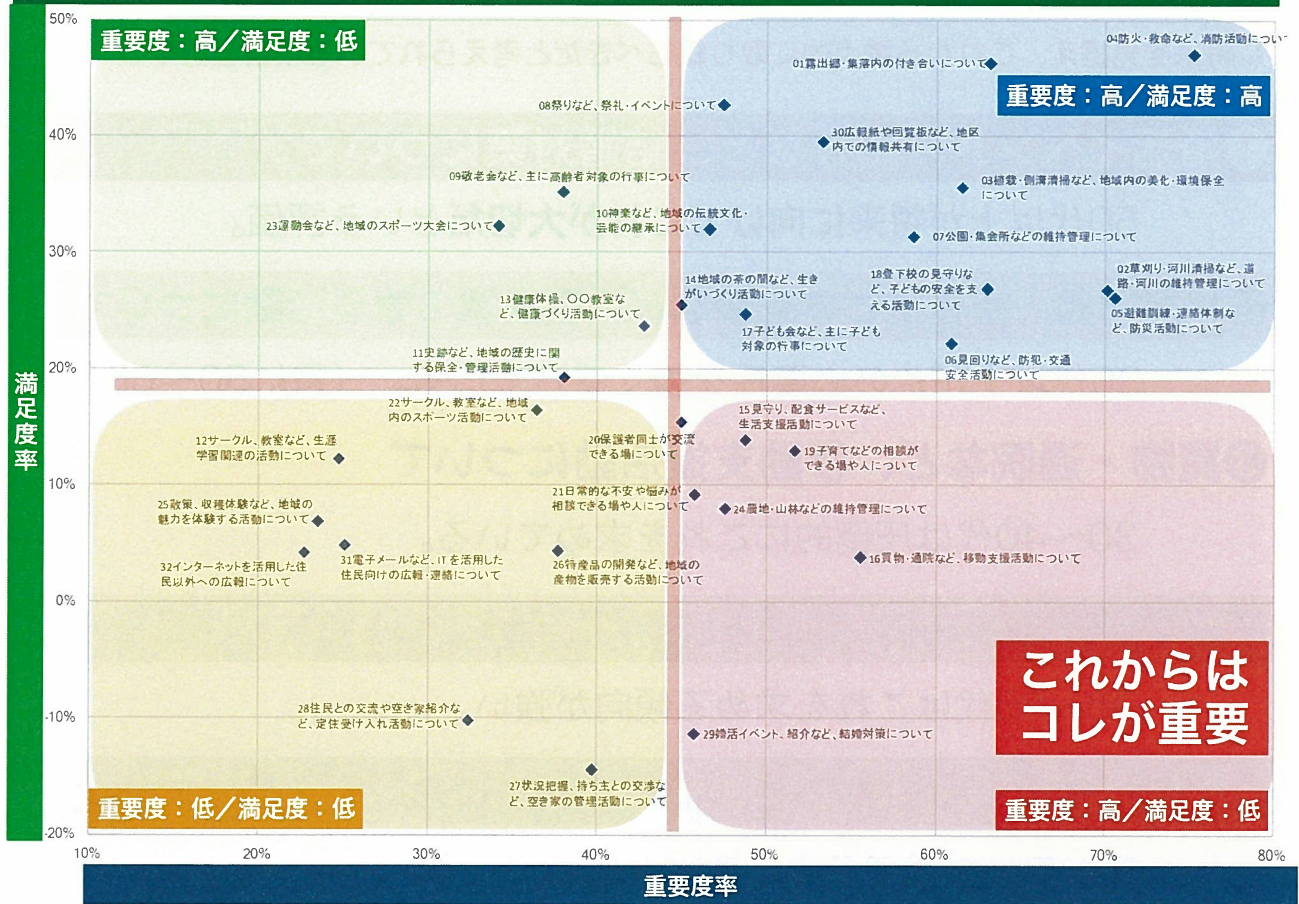
→中でも40～60代はこれを困りごととする割合が高い。

★仲間と気軽に集まる場所がない。 10.5%

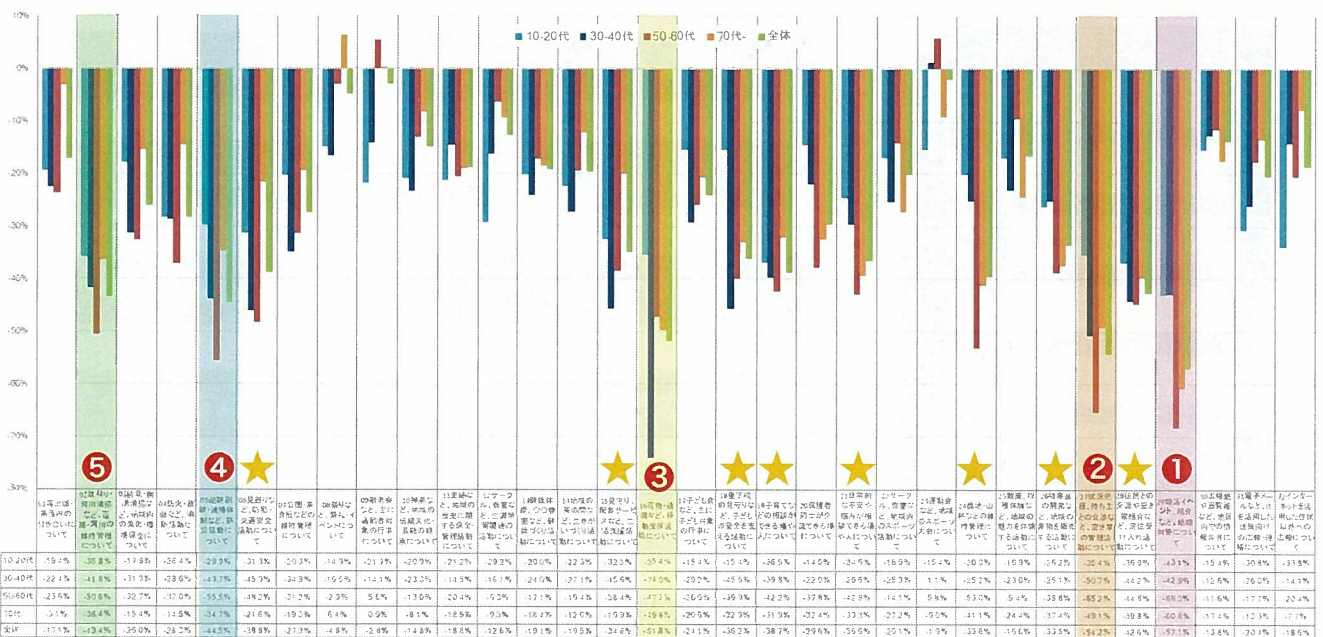
10～40代ではこれが上位にランクイン

→若い世代はこうした場が無くて困っている。

取り組みの満足度と重要度



取り組みの満足度と重要度の評価 (年代別)



※グラフが下に伸びているほど、満足度と重要度のギャップがある (=現状では満足しておらず、これからは重要だと思う) 項目

- ① 婚活イベント、紹介など、結婚対策について**
- ② 状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動について**
- ③ 買物・通院など、移動支援活動について**
- ④ 避難訓練・連絡体制など、防災活動について**
- ⑤ 草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理について**

取り組みの満足度と重要度の評価 (まとめ)

◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている項目上位5つ

①婚活イベント、紹介など、結婚対策について

50代以上が将来に向けてこれが大切だという評価。

②状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動について

30代以上がこの必要性を強く感じている。(特に50~60代)

③買物・通院など、移動支援活動について

30~40代は圧倒的にこれを求めている。

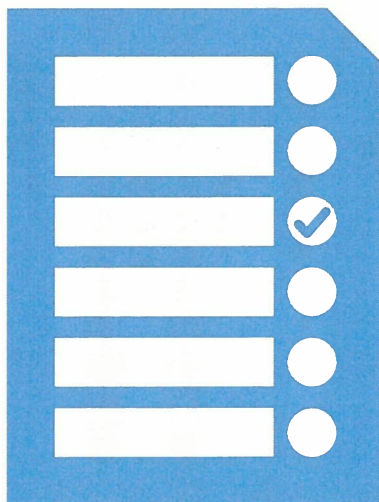
④避難訓練・連絡体制など、防災活動について

30~60代はこれを求める傾向が強い。

⑤草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理について

すべての世代でこの必要性を感じている。

◎将来を見据え、力を入れていくべきだと考えられている項目



★見回りなど、防犯・交通安全活動について

★見守り、配食サービスなど、生活支援活動について

★登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動について

★子育てなどの相談ができる場や人について

★日常的な不安や悩みが相談できる場や人について

★特産品の開発など、地域の産物を販売する活動について

★住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動について